

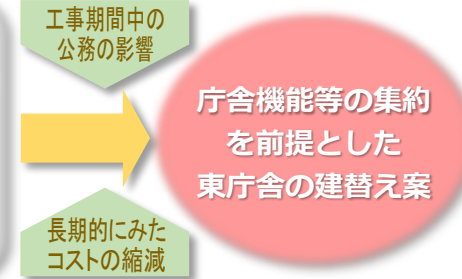
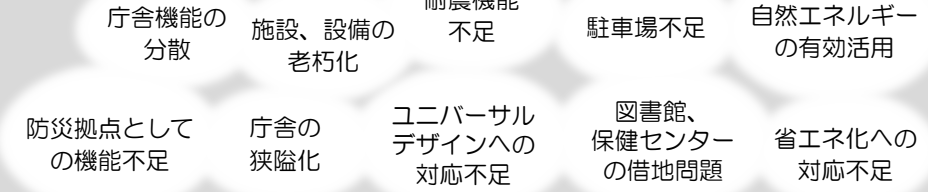
湖南省庁舎建設及び周辺整備基本計画(概要版)

1. 庁舎建設の基本的な考え方

湖南省の公共施設は、石部に西庁舎、甲西に東庁舎等、夏見に保健センターがあり、それぞれの機能が分散していることで、行政効率の低下を招いています。また、旧耐震基準の建物が多く老朽化が進んでおり、災害時の建物倒壊の危険性が懸念されます。こうした課題に対する総合的な解決策として、各公共施設の機能の集約を前提とした「東庁舎の耐震改修及び増築案」と「東庁舎の建替え案」について、検討を行いました。

その結果、現庁舎等の課題への対応や工事期間中の公務の影響、また、インシヤルコストやライフサイクルコストなど、様々な観点から、庁舎機能等の集約を前提とした「東庁舎の建替え案」により、基本計画を取りまとめました。

現庁舎等の課題



2. 庁舎整備の基本方針と庁舎の機能

現庁舎の現状と課題等を踏まえ、新庁舎建設の基本方針と庁舎機能を以下のように設定します。

庁舎整備の基本方針	庁舎機能
(1) 市民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎	防災拠点機能
(2) 市民に開かれた誰もが使いやすい庁舎	市民利用機能
	市民交流機能
(3) 社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い庁舎	行政執務機能
	議会機能
(4) 環境に配慮した庁舎	環境共生機能

他の行政施設の集約
甲西図書館、保健センター、社会福祉センター、サンライフ甲西（行政執務機能）、中央まちづくりセンター

(2) 市民に開かれた誰もが使いやすい庁舎

■市民利用機能

- 案内機能の整備**
 - 案内表示の適正な配置とデザイン等の統一
 - 親切・丁寧な総合案内サービス
- 窓口・相談機能の整備**
 - ワンストップサービス窓口の導入
 - プライバシーに配慮した窓口カウンターや相談スペース
- ユニバーサルデザインへの対応**
 - 安全で歩きやすい通路・廊下幅の確保
 - 授乳、おむつ替えスペースやキッズスペース
 - 誰でも利用しやすいトイレ、エレベーター
- 駐車場・駐輪場の整備**
 - 駐車場・駐輪場の適正な配置と規模の確保
 - 屋根つきのハートフル駐車場や電気自動車の急速充電器等の設置の検討
 - 目的外使用者への対応としての駐車場利用時のルールづくり



仕切りのある窓口カウンター



屋根つきのハートフル駐車場

■市民交流機能

- 市民の利活用スペースの確保**
 - 市民交流の拠点となる多目的スペースの設置
 - コンビニエンスストアや飲食スペース等の設置の検討
- 情報提供機能の整備**
 - 情報提供スペースの設置



情報提供スペースイメージ

(4) 環境に配慮した庁舎（環境共生機能）

①省資源・省エネルギー機能

- BEMS（エネルギー管理システム）やZEB（ゼロエネルギービル）、ガスコージェネレーションシステムの導入を検討
- 燃料電池を活かした蓄電による余剰電力の売電等の検討
- 自然エネルギー、自然採光、自然通風の活用

②ライフサイクルコストへの配慮

- 消費電力が低く長寿命な電子機器
- 将来の維持管理費の縮減を見据えた設計

③景観への配慮

- 敷地内緑化等、周辺環境との調和

(3) 社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い庁舎

■行政執務機能

- 執務室の整備**
 - 柔軟性の高い執務スペースと効率的な各課の配置
- 会議室等の整備**
 - 柔軟性の高い会議室の適正配置
 - 市民も利用可能な多目的室の設置
- 倉庫・書庫の配置**
 - プライバシー保護に対応した収納
- セキュリティへの配慮**
 - 夜間休日利用に対応した各課・施設の配置
- 職場環境の改善**
 - 職員のリフレッシュスペースの配置
- ICTの活用**
 - 庁内 LAN 等の活用による業務の効率化



執務スペースイメージ

■議会機能

- 議場の整備**
 - 議場、傍聴席のバリアフリー化
 - 使いやすく柔軟性のある議場
 - 設備のICT化
- 委員会室・諸室の整備**
 - 効率的な議会関連諸室の配置と、柔軟かつ多目的利用可能な整備



オープンスペースとしても利用できる議場

(1) 市民の安全・安心な暮らしを支える拠点となる庁舎（防災拠点機能）

①耐震性の確保

- 耐震性に優れた建物構造として、免震構造の採用を検討

②災害対策本部の整備

- 災害対策本部室の設置

③バックアップ機能の整備

- 雨水貯留設備等の設置
- 非常用発電装置の設置

④災害対応スペースの確保

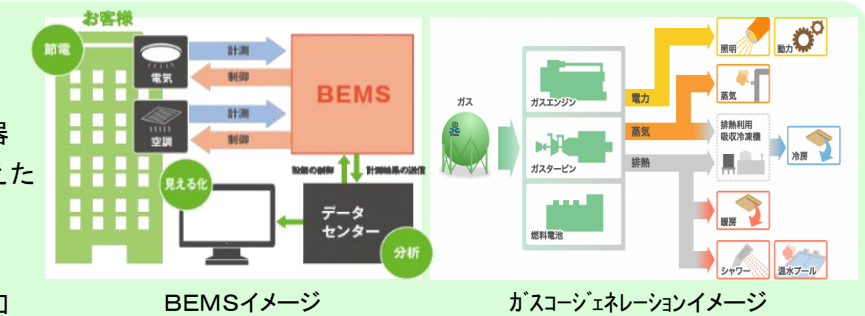
- 災害対応に配慮した多目的スペース、仮眠室、駐車場等の整備
- 災害対応用の備蓄倉庫の設置



災害対策本部イメージ



備蓄倉庫イメージ



BEMSイメージ

ガスコージェネレーションイメージ

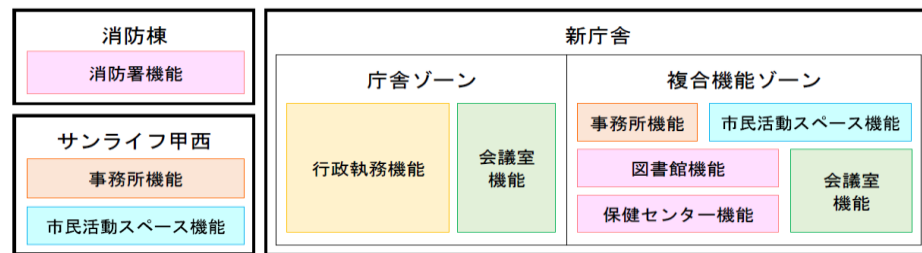
3. 施設集約の考え方

【集約の方針】

- ・主に東庁舎と西庁舎の機能を配置する「**庁舎ゾーン**」と、その他施設の機能を配置する「**複合機能ゾーン**」でエリアを分けます。
- ・「**庁舎ゾーン**」にはすべての施設の行政執務機能をまとめて配置し、会議室機能となる諸室は必要数を確保します。
- ・「**複合機能ゾーン**」には庁舎以外の事務所機能、市民活動スペース機能、保健センター機能、図書館機能を集約します。これらの施設は閉庁時にも運営する「**庁舎ゾーン**」とは別にエントランス等を設置します。
- ・市民活動スペースに配置する諸室は、各施設の利用頻度によって一室の面積規模と必要な数を検討します。
- ・サンライフ甲西は新耐震基準のため、引き続き、現在の施設を利用し、「**庁舎ゾーン**」に配置する行政執務機能の跡に社会福祉センターの事務所機能を配置します。
- ・各施設の機能集約に合わせて、中央消防署の機能の更新・充実を図ります。

【現在の各施設が保有する機能】

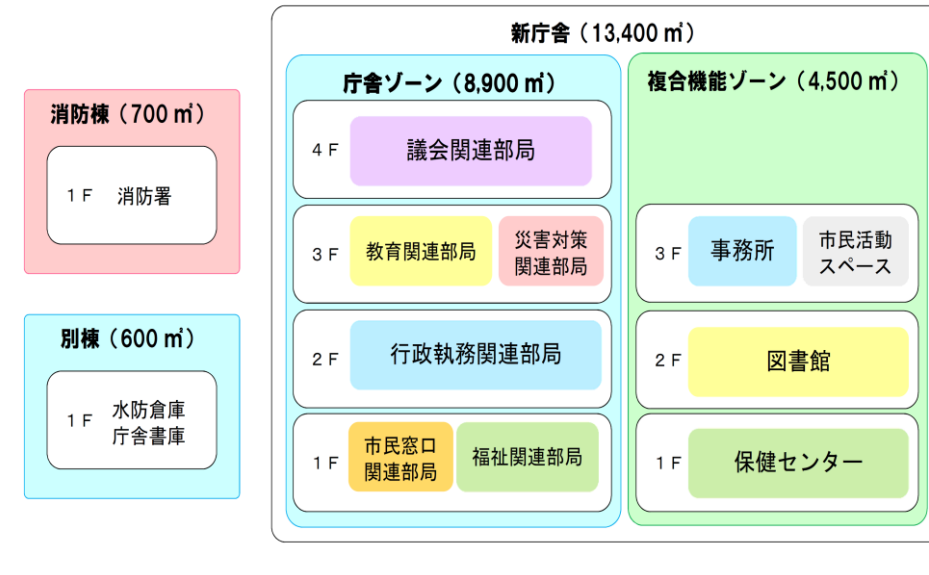
施設	主な機能	
東庁舎	行政執務機能	会議室機能
西庁舎	行政執務機能	会議室機能
甲西図書館	図書館機能	会議室機能
保健センター	行政執務機能	保健センター機能 会議室機能
中央まちづくりセンター	事務所機能	市民活動スペース機能
サンライフ甲西・商工会	行政執務機能	事務所機能 市民活動スペース機能
社会福祉センター	事務所機能	市民活動スペース機能
中央消防署	消防署機能	



甲西図書館については、現在、新庁舎への複合化を計画していますが、今後実施する基本設計段階においては、複合化にこだわることなく、事業費の観点からも、効率的で有効な方法を選択しながら、見直しを行っていきます。

4. 各フロアの配置構成と面積規模

新庁舎の庁舎ゾーンには、1階に市民利用の多い窓口や福祉関連の課を配置し、2階以上には執務室や議場等を配置します。複合機能ゾーンは、庁舎以外に複合する施設の機能として、1階に保健センター、2階に図書館、3階に市民が利用するホールや会議室等と、その事務所を配置します。新庁舎のおおよその延床面積は、**庁舎ゾーン(8,900㎡)**と**複合機能ゾーン(4,500㎡)**を合わせて、**13,400㎡**となります。また、水防倉庫と庁舎書庫を約600㎡の別棟として配置します。

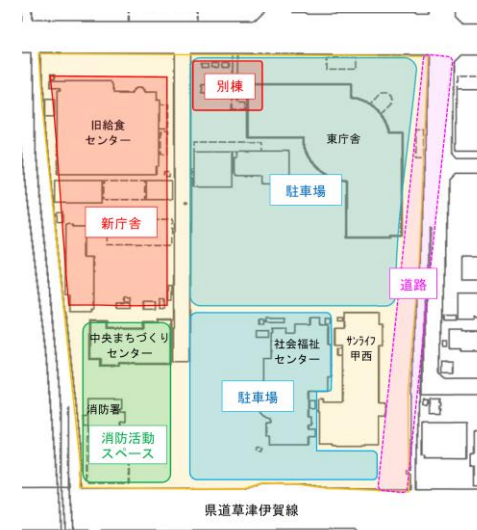


5. 庁舎の配置と敷地利用計画

(1) 新庁舎等の配置について

新庁舎の位置は、**現在の施設をできる限り利用しながら建設できる位置**とし、旧給食センター、車庫・倉庫の跡地を基本とします。

現在の東庁舎、社会福祉センターが建っている箇所は、建物除却後、駐車場として利用し、現在の中央まちづくりセンター、消防署付近は消防活動スペースとして利用します。



(2) 駐車場について

現在、新しい駐車場で確保できる駐車台数は、**458台**と想定しています。

6. 事業計画

(1) 整備手法

平成29年度から交付税措置のある起債が活用できるようになったことや、市所有の施設として、事業費の削減効果や工事期間等の観点を踏まえ、**デザインビルド方式(設計施工一括発注方式)**や、設計と施工を分けて発注する**従来方式**など、効率的な整備手法を検討し、早期の完成をめざします。

(2) 概算事業費

新庁舎等整備に伴う概算事業費は以下のように想定しています。

建設工事費	除却費	改修費	周辺整備費	調査・設計費	合計
56億2千万円	3億2千万円	3千万円	3億円	2億円	64億7千万円

(3) 財源

交付税措置のある起債等を活用しながら、整備を進めていきます。

財源・対象機能及び面積		金額	備考
起債	市町村役場機能緊急保全事業	庁舎機能 9,500㎡	公共施設等適正管理推進事業債
	集約化・複合化事業	複合機能 4,500㎡	
	除却事業	施設除却 14,125㎡	
	緊急防災・減災事業債	消防棟 700㎡	
	一般起債	サンライフ甲西改修周辺整備	
一般財源		9.1億円	◇庁舎整備基金 他
合計		64.7億円	

(4) 整備スケジュール

平成29年度に基本計画を取りまとめた後、**平成30~31年度に基本設計と実施設計**、**平成31~32年度に建設工事**を行い、**平成32年度末に新庁舎の供用**を開始するスケジュールで取り組んでいます。

なお、新庁舎の建設後、平成33年度に、サンライフ甲西の改修工事や、新庁舎へ機能を集約した東庁舎周辺施設の解体工事を行う予定です。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
基本計画		タウンミーティング等				
基本設計・実施設計			市民ワークショップ	(約13ヶ月)		
建設工事					(約1年7ヶ月)	新庁舎供用開始
解体工事				(中央まちづくりセンター)	(サンライフ甲西改修)	(約12ヶ月) (東庁舎・図書館・保健センター・社会福祉センター)